



▲「いけ花」を親子でのびのび体験

8月21日、中央公民館で市華道協会主催の伝統文化いけ花親子教室が開かれました。ヒマワリ、ナデシコ、モンステラなどの草花を、参加した子どもたちが自由な発想でのびのびと生けました。子どもの様子を見守る親からは「新しい一面が見られました」といった声が聞かれました。

【長谷川 智憲】



▲「カフェこぞの」でレコード鑑賞会

8月23日、小園憩の家(小園自治会館内)が「カフェこぞの」に变身し、レコード鑑賞会が開かれました。丸テーブルにスタンドグラスのランプが置かれ、カフェの雰囲気をつくり出していました。参加者は、コーヒーを飲みながら、持ち寄ったレコードでクラシックやポピュラー音楽を堪能していたようでした。

【高橋 元】



署名記事は広報まちかど特派員などから



▲手入れされて気持ち良さそうな馬の目

8月14日、暑い日でしたが綾瀬乗馬クラブ(上土棚中)で市馬術協会のメンバーが馬の手入れをしていました。レッスンで乗った馬を洗い場に連れていき、お湯を体に掛けてブラッシングした後、水を飲ませると馬は気持ち良さそうな目をしていました。馬との大切なふれあいの時間になっているようです。

【馬場 正勝】



▲初心者・ジュニアゴルフレッスン会

7月30日、小田急藤沢ゴルフクラブ(深谷南)で市ゴルフ協会の初心者・ジュニアゴルフレッスン会が開催されました。練習場での初歩的なレッスンの後、実際のグリーンでのレッスンが行われ、参加者の皆さんは緊張気味で受けていました。

【米山 徳治】



▲わ～アブラゼミが羽化している！

7月29日、綾南地区センターなどでわんぱくスクール「君も昆虫博士！～昆虫好きな子集まれ～」が開催され、22人の小学生が参加しました。落合キツキの森ではアブラゼミの羽化に遭遇し、初めて見る子どもたちの目は「驚きと感動」にあふれ、「わ～アブラゼミが羽化している」と声を上げていました。

【福島 順一】



▲海の中の森って何だ

8月19日、北の台地区センターでわんぱくスクール「海藻おしば教室」が開催され、29人の小学生が参加しました。講師から「海の中にも森があるのを知ってますか」との問いがあり、子どもたちは「え～！海の森ってなんだ」と声を上げていましたが、海藻が海に森を作っているという説明に納得した様子でした。

【福島 順一】



▲旬の綾瀬産フルーツを試食

8月24日、中央公民館で市民活動交流カフェが開催され、30人以上の市民が参加しました。市内で農業を営む比留川実さんが、初心者でも家庭菜園ができる農園の開設を目指していることなどを講演しました。参加者は、ブドウや高座スイカなど旬の綾瀬産フルーツを味わいました。

【情報提供・コミュニティサポートあやせ 笠間 功治さん】

市内各地で盆踊り



▶▶▶ 7月30日、大上ゆめ公園で大上自治会の盆踊り大会が開催されました。太鼓の演奏を合図に、大会が始まり、地域内外から1200人を超える方々が参加し、輪になって踊りながら、夏の一夜を楽しみ過ごしたようでした。

【吉江 旭】



◀◀◀ 8月6日、蓼川神社で蓼川自治会の盆踊り大会が行われました。踊りの練習も事前に行い、子どもからお年寄りまで楽しんだようでした。地域住民の親睦はさらに深まったようで、日中の暑さも忘れて真夏の夜のひとときをみんなで楽しみました。

【大滝 隆司】



▶▶▶ 8月6日、中村地区センターで中村自治会の納涼盆踊り大会が開催されました。大会が始まる前から太鼓の音が鳴り響き、暗くなるころには、やぐらやその周りには踊る人でいっぱいになりました。最後に恒例の花火「ナイアガラ」が披露されました。

【米山 徳治】

